

令和3年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

| | | | | | | | |
|--------------------------------|--|-------------------------------|----|---|----------------------|-----|-----|
| 講義番号 | 授業科目名 | スポーツマネジメント演習Ⅱ | | 担当教員 | 小笠原正志 | | |
| | 英語授業科目名 | Seminar on Sport Management Ⅱ | | 単 位 | 各 4 | 学 期 | 通 年 |
| 対象年次 | 2年次 | クラス指定 | なし | 他との関連 | | | |
| 履修条件 | 大学学部での履修や実務経験等を通じてスポーツマネジメントに関する知識を修得していること | | | | | | |
| テーマ・副題 | スポーツ組織におけるマネジメントやスポーツマーケティング | | | | | | |
| 授業の教育目的・目標 | 受講生の問題意識に基づいたスポーツマネジメントにかかる課題について、学術的なフレームワークを理解した上で論文作成に取り組み、議論を踏まえながら推敲を重ねることで、修士論文の完成に導く指導を行う。 | | | | | | |
| 授業の理解度の到達目標 | 受講生各自の研究テーマに基づいて、高品質の研究論文を完成させる。 | | | | | | |
| 授業キーワード | スポーツマネジメント、スポーツマーケティング、スポーツ組織、ヘルスプロモーション | | | | | | |
| 授業の内容 | 受講生各自の研究テーマに基づく修士論文の作成指導 | | | | | | |
| 授業の方法 | ① 受講生による「論文作成のためのフレームワーク」の発表と討議 ② 受講生による研究論文の発表と討議 | | | | | | |
| 授業展開 | 1. 講義ガイダンス 2. 論文作成のためのフレームワーク(1) 3. 論文作成のためのフレームワーク(2) 4. 論文作成のためのフレームワーク(3) 5. 論文作成のためのフレームワーク(4) 6. 論文作成のためのフレームワーク(5) 7. 論文作成のためのフレームワーク(6) 8. 論文作成のためのフレームワーク(7) 9. 論文作成のためのフレームワーク(8) 10. 論文の経過発表と討議(1) 11. 論文の経過発表と討議(2) 12. 論文の経過発表と討議(3) 13. 中間発表(1) 14. 中間発表(2) 15. 中間発表(3) | | | 16. 論文の経過発表と討議(4) 17. 論文の経過発表と討議(5) 18. 論文の経過発表と討議(6) 19. 論文の経過発表と討議(7) 20. 論文の経過発表と討議(8) 21. 論文の経過発表と討議(9) 22. 論文の第1稿発表と討議(1) 23. 論文の第1稿発表と討議(2) 24. 論文の第1稿発表と討議(3) 25. 論文の第2稿発表と討議(1) 26. 論文の第2稿発表と討議(2) 27. 論文の第2稿発表と討議(3) 28. 最終発表(1) 29. 最終発表(2) 30. 最終発表(3) | | | |
| 成績評価方法 | 修士論文の内容(80%)と授業への取り組み姿勢(20%)を評価要素とする。 | | | | | | |
| 成績評価基準 | 成績は、総合点で80点以上をA、79~70点がB、69~60点がCで単位認定とし、59点以下をDとして不合格とする。 | | | | | | |
| テキスト | 関連する資料や文献を適宜指示する。 | | | | | | |
| 参考図書 | 講義の際に適宜紹介する。 | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容 | 受講生各自の研究テーマに関する先行研究・参考文献・資料等の収集と分析 | | | | | | |
| 学生へのメッセージ | 修士論文の作成を通して、スポーツマネジメントの理解を深めてくれることを期待します。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 水曜2時限、金曜2時限 | | | | | | |
| 連絡先 | 電話番号 | 0270(32)1011 | | メールアドレス | ogasawara@jobu.ac.jp | | |
| 人数制限 | なし | | | | | | |